



春のオススメ本紹介

YA担当より

春は出会いの季節ですね。新しくYAコーナーデビューする人も、今までYAコーナーに来てくれていた人も、素敵な本との出会いがあるよう担当も応援します！まずはこんな本はいかがですか？



①

「赤毛のアン」が教えてくれた大切なこと」

茂木 健一郎／著
PHP研究所
児童書架 930E



『赤毛のアン』は、みなさんも本で読んだり、テレビアニメでご存知の方も多と思います。この物語の主人公アンは、子どもの頃、赤毛の髪の毛であったことや、顔にそばかすがあることがとてもコンプレックスを抱えた女の子でした。

テレビにも出演して活躍中の茂木健一郎さんはこの『赤毛のアン』の物語が大好きなのだそうです。自分の身に置き換えて読んでみると、プラスになることがたくさんありますよ。

②

「サウスポー」
ジュテイス・ヴィオースト／作
金原 瑞人／訳
はた こうしろう／絵
東京 文溪堂
児童書架 Eハ



ケンカをしてしまいお互い素直になれないリチャードとジャネット。そんな二人が手紙ともつかないメモをやりとりします。リチャードがはいている野球チームの悪口を書いたり、お返しにジャネットに意地悪を書いたり…。本等は好きなのに、意識して優しくなれない幼いふたりのやりとりがあまらずぱくかわいらしいおはなしです。ふたりの内緒のメモをそっとのぞいてみませんか。

③

「官兵衛、駆ける。」
吉橋 通夫／著 講談社
児童書架 2897



信長・秀吉に仕え、知略に優れた軍師として知られる黒田官兵衛。小寺職隆の長男として生まれ、幼いころから書や馬術を学んでいましたが、14歳で母を亡くすと武将への道を迷い、塞ぎこんでしまいます。新たな一歩を踏み出すため、久しぶりに会った馬借の友人・千次と京都へと旅に出ます。

戦乱の時代に「戦わずして勝つ」ことを目指した武将の原点に迫る。家族や友人、家臣に支えられた青年期を描いた1冊です。

④

「里山のことば」
今森 光彦／写真・文
世界文化社
一般書架 748イ アカ



里山は心の我が家。今、心の旅にでかけよう！
厳選された100枚の写真と、里山の四季の移ろいを、「木の芽晴れ」「夏木立」「秋望」「山眠る」などの季節の呼び名で綴った、見て、読んで、感じるフォトエッセイ集。美しい写真とともに、里山のことばを感じ取ってみませんか。